

科目名	日本語表現法 (Japanese Language Expression)			科目コード	118
開講学科	看護学科・臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1 年次前期	関連DP	
担当教員	西村 浩子*、河野 久美子*				
授業概要	話すことや書くことを中心に、グループ学習などを取り入れ、実践的に日本語表現の練習を行う。				
授業目標	1. 自分の考えをわかりやすく論理的に表現することができる。 2. 相手の立場や状況を考えて、相手に配慮した日本語表現ができる。 3. 日本語を話すことや書くことを通して、日本語を見直し、意識することができる。				

授業計画

回	項目	内容
1	授業の進め方について	西村 授業の進め方について説明する 相手の立場に立った話し方を考える① (内容)
2	説明する・発表する①	西村 相手の立場に立った話し方を考える② (相手に合わせる技術)
3	メールの作法①	河野 メールで目上の人と連絡・報告する書き方を学ぶ
4	正しい日本語・敬語を使う	河野 尊敬語や謙譲語、またコミュニケーションを円滑にする言葉について考える
5	説明する・発表する②	西村 相手の立場に立った話し方を考える③(課題の発表と振り返り)
6	レポートを書く①	河野 レポートを書く時の注意点を学ぶ①
7	レポートを書く②	河野 レポートを書く時の注意点を学ぶ②
8	正しい日本語・敬語を使う②	河野 医療現場におけるコミュニケーションについて考える
9	電話をする	河野 電話のマナーと話し方を考える
10	メモを取る	河野 自分のメモの取り方を見直し、メモの内容を相手にわかりやすく伝える方法を考える
11	手紙を書く	河野 季節や目的に応じた手紙の書き方を知り、手紙の中の敬語の使い方を考える。実際に手紙を書く
12	感情をコントロールする	河野 アンガーマネジメントを知る
13	日本語表現法を考える①	西村 本の紹介を通して人に気持ちを伝える表現を考える① (ビブリオバトル)
14	日本語表現法を考える②	河野 本の紹介を通して人に気持ちを伝える表現を考える② (ビブリオバトル)
15	授業の振り返りと要点整理	これまでの学びのポイントを振り返り、日本語表現の要点を整理する
成績評価方法		筆記試験 60% 平常活動 (提出物・授業に取り組む態度等) 40%で評価する。
教科書	野呂幾久子ほか「看護系学生のための日本語表現トレーニング」(三省堂)	
参考図書等	授業中に指示する。	
授業時間外の学習について	事前に指定されたテキストのページを読んでおく。事後には課題の作成を行い、授業にそなえる。	
関連科目	131 コミュニケーション論	
備考	毎回、担当者を決めてミニトーク (3分間) を行う。	